

# 株主の皆様へ

## 第82期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

# TOMOKU

Packaging Innovation

証券コード 3946

株式会社トーモク



TOMOKU

# 株主の皆様へ

---

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第82期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が停滞し、景気は大きく後退しました。企業収益や雇用・所得環境は悪化し、個人消費も減少、設備投資や住宅建設も力強さに欠けるなど、厳しい状況にあります。先行きについては、感染症の影響が残るなかで政府の経済対策の効果にも支えられ、社会経済活動のレベルを引き上げる動きも見られるなど、景気の改善基調を辿るものと予想されます。

その中で当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は792億32百万円(前年同期比4.9%減)、経常利益は15億95百万円(同8.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億80百万円(同0.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次ページに記載の通りでございます。

当社グループでは「環境や社会にやさしく、ビジネスと暮らしを包み、安全にお届けする」という理念のもと、次世代に住みよい地球を引き継ぐため、ESG・SDGsへの取組み方針と2030年達成目標を設定し、事業活動と調和した環境保全活動に取り組んでまいります。「ホワイト物流」推進運動もスタートから2年目に入りましたが、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保できるよう、荷主・物流当事者として主体的に改善を進めております。

通期では連結売上高1,770億円、連結経常利益74億円、親会社株主に帰属する当期純利益46億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき20円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解をいただき、より一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



2020年12月

代表取締役社長 中橋 光男

## セグメント別業績

### 段ボール

売上高 479億89百万円 (前年同期比5.0%減)  
営業利益 28億75百万円 (同2.6%増)

段ボールの国内需要は、コロナ禍の中、前年同期比マイナス5%程度とリーマン・ショック以来の大幅な減少となりました。

当社グループの国内段ボール生産量は前年同期比で若干マイナスとなりましたが、当社グループは食料品向けや通販・宅配向けの比率が国内平均より高いこともあり、全国の減少率までは落ち込みませんでした。

当期は段ボール工場に設置されているボイラ燃料の都市ガス化を更に進め、燃焼効率が良く二酸化炭素排出量の少ないボイラに更新するなど環境面での投資を進めてきました。また、北関東の館林工場と岩槻工場の間地点に位置する連結子会社の(株)トーシンパッケージ本社工場を近隣環境や老朽化問題解決の観点から移転に着手しました。来春に最新鋭の貼合機や加工機を配置した一貫工場が稼働予定で同地区での安定した生産・供給体制を構築してまいります。

印刷紙器部門では、千葉紙器工場に片面段ボールの貼合機と美粧パッケージ向けの合紙機を新たに導入し、新規需要先への販売活動を展開していきます。

海外では、米国段ボール子会社のサウスランドボックス社は工場拡張工事がコロナ禍の中、当初計画よりやや遅れてはいるものの、着実に進んでおります。



※建設中の(株)トーシンパッケージ本社工場 (来春稼働予定)

### 住宅

売上高 119億46百万円 (前年同期比6.4%減)  
営業損失 19億98百万円 (前年同期は営業損失18億35百万円)

住宅事業においては、昨年は10月からの消費増税前の駆け込み需要があり、その反動があったことや感染症拡大による外出自粛により展示場への来場数が減少するなど、住宅着工戸数は低調に推移しました。

スウェーデンハウス(株)はスウェーデンハウスの様々な情報を発信するアプリ「ムースくん」の配信をスタートするとともにホームページを刷新し、バーチャル展示場などのWEB活用やオンラインでの商談など営業活動の変革に取組み、また法人営業を強化し紹介受注の増大を図ってまいりました。

快適性能No.1のアピールと価値の持続する家作りを基本に「オリコン日本顧客満足度ランキング」で6年連続第1位の受賞を積極的に訴求するとともに、当期におきましては新築戸建住宅を建設されるお客様に東京ガス(株)と共同で太陽光発電設備を無償で提供するサービス『HUS ECO ZERO × ずっともソーラー』を開始し、また、平屋住宅

(レットナード)にルフトデッキを加えたプランを投入するなど、企画を充実した結果、受注棟数は前年同期比22%増となりました。



※ルフトデッキのあるレットナード(イメージ)

## 運輸倉庫

売上高 192億96百万円 (前年同期比3.8%減)  
営業利益 9億54百万円 (同11.9%減)

運輸部門においては、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言に伴う外出自粛・飲食店営業時間の短縮・在宅勤務等や7月の長梅雨の影響で、当社グループの主力である飲料製品の自動販売機向けやコンビニエンス向け等の輸送数量が大幅に減少しました。

倉庫部門においては、飲料関係の出荷の落込みはありましたが、関東エリアにおける新規飲料センターの受託や東北エリアでの新規営業所の開設などにより増収となりました。

運輸倉庫全体では、取扱数量の減少と費用増加のため、減収減益となりました。

## CSR・サステナビリティ

国連での持続可能な開発目標 (SDGs) の採択やCOP21での地球温暖化対策の国際的枠組を定めたパリ協定の発効など、地球規模で持続可能な社会実現への取組みが一層強く求められております。ステークホルダーにとって価値ある企業であり続けるために、当社グループは持続可能な発展に向けた活動を一層高めていきます。

ISO26000中核主題とSDGコンパスを参考に、有識者やステークホルダーの意見を踏まえてマテリアリティを定め、2030年までの長期目標を設定し、進捗状況や課題の報告を公開するため、ホームページの一部をリニューアルいたしました。



※ホームページリニューアル (抜粋)

これからも、当社グループは、ビジネスと人々の暮らしを見つめ、「包む」に関わる絶え間ないイノベーションにより、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## 四半期連結財務諸表（要旨）

●売上高	<b>792億32</b> 百万円（前年同期比 4.9%減）
●経常利益	<b>15億95</b> 百万円（前年同期比 8.1%減）
●親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>9億80</b> 百万円（前年同期比 0.5%増）

## 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日現在)	前連結会計年度末（ご参考） (2020年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	61,468	58,510
固定資産	93,333	88,135
有形固定資産	77,664	73,667
無形固定資産	249	242
投資その他の資産	15,419	14,225
<b>資産合計</b>	<b>154,801</b>	<b>146,646</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	41,138	39,244
固定負債	47,748	42,529
<b>負債合計</b>	<b>88,887</b>	<b>81,773</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	62,414	61,844
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,226	11,226
利益剰余金	41,839	41,268
自己株式	△ 4,321	△ 4,320
その他の包括利益累計額	3,057	2,618
非支配株主持分	441	409
<b>純資産合計</b>	<b>65,913</b>	<b>64,872</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>154,801</b>	<b>146,646</b>

## 四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>79,232</b>	<b>83,332</b>
売上原価	66,478	70,006
売上総利益	12,754	13,325
販売費及び一般管理費	11,304	11,661
<b>営業利益</b>	<b>1,450</b>	<b>1,663</b>
営業外収益	357	391
営業外費用	211	319
<b>経常利益</b>	<b>1,595</b>	<b>1,735</b>
特別損失	19	93
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,576</b>	<b>1,642</b>
法人税、住民税及び事業税	1,184	1,267
法人税等調整額	△ 623	△ 649
四半期純利益	1,015	1,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	48
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>980</b>	<b>975</b>

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="https://www.tomoku.co.jp/">https://www.tomoku.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 株式会社 トーモク

## TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル4階  
TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825  
<https://www.tomoku.co.jp/>

